

# 上宮寺通信

第三十六号

## お盆の疑問

梅雨が明け、今年もまた猛暑の夏がやってきました。東京オリンピック・パラリンピックに出場する各国の選手たちも日本の暑さにはびっくりでしょう。

そして、日本の8月といえば「お盆」。お盆の疑問を考えます。

### ① お盆は7月？ 8月？

関東地方では7月が多いようですが、愛知県でも一部地域で7月と聞いたことがあります。でも、ほとんどのところで8月だそうです。

お盆というのは、目連尊者が亡き母親の救いをお釈迦様に求めたところ、安居の最終日(7月15日)に仏、菩薩、僧に供養

をすることを勧められたことが由来となつています。

ここでいう7月15日というのは旧暦です。しかし明治になり改暦が行われ、旧暦の7月15日は新暦の8月15日と定められました。旧暦をとるか、新暦をとるかで分かれたようです。

### ② 先祖は帰ってくるの？

お盆はご先祖様が帰ってくる日と言われます。宗派によっては迎え火、送り火を焚くというところもありますし、こちらにお帰りになられている間はきちんと食事の準備もするというところもあります。

では、浄土真宗ではどうなのかと申しますと、一言でいえば「帰ってきません」ということになります。

亡くなられたご先祖様は阿弥

陀仏のおられる浄土で仏様として、この娑婆世界にいる私たちに「阿弥陀仏の願いを聞いてほしい」と願っておられるといただきます。ですから、帰る必要もなく、常に私たちを見守っているのです。

ただ、私たちは日頃から仏様、ご先祖様のことを思う生活をなかなかできません。自分のことで精一杯の生活をしています。お盆の日ぐらひは、仏様やご先祖様のことを思い、いま生きていることのありがたさを確かめるのが大切なのではないでしょうか。

### ③ お盆のお飾りは？

浄土真宗ではお盆だからといって特別なお飾りは必要ありません。

せん。いつもと同じようにお盆もお迎えください。

お盆の語源である「ウランバーナ」は「倒懸」と訳され「逆さまに吊るされた苦しみ」という意味があります。仏様の世界からみれば、この世の中は苦しみで満ちた世界です。そして、その苦しみの根本は私たちの自我の心(自分中心の心)にあります。そのことに気づいてほしいとの仏様の願いを聞かせていただくご縁がお盆なのです。



◆行事案内

上宮寺の行事

お盆(盂蘭盆会) 法要

8月13日(金)・14日(土)

午前9時〜午後3時(両日とも)

場所：上宮寺本堂

※ご都合のつく時間にお参りください。

秋季彼岸会・永代経法要

9月8日(水) 午前10時〜

法要 引き続き 法話

法話 住職

※午前だけの法要といたします。お齋(食事)、呈茶はございませんのでご了承ください。

※今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては変更する場合があります。

◆話題あれこれ

○8月13日、14日は、お盆(盂蘭盆会)法要をつとめさせていただきます。ご案内の時間内でしたら、ご都合のつく時間いつでも結構です。お参りください。法名を読み上げますので、受付で記入できるよう準備も忘れなく。また、マスク着用など感染予防にご協力をお願いいたします。



○秋のお彼岸・永代経法要を9月8日に勤めます。ワクチン接種が進みつつありますが、まだ皆さんと一緒に(食事)をいただくのは難しいと判断し、午前だけの法要となります。お勤めの後、住職が少しお話をさせていただきますので、お昼前での終了を予定しています。

○オリンピックが開かれているものの、東京では緊急事態宣言が継続中で感染者もかなりの数になっています。愛知県も感染者数が増えており油断はできません。もし愛知県に緊急事態宣言が発出された場合、ご案内の法要につきましては変更する場合がありますのでご理解ください。

○夏本番です。新型コロナウイルスはもちろんのこと熱中症にも十分、気をつけてください。

【雑感】

一年延期された東京オリンピックが開幕しました。コロナ禍での開催で、ただでさえ混乱しているのに、開幕直前で開会式の演出家が解任。本当に大丈夫だろうかと他人事ながら心配になってしまいました。しかし、日程が進み、日本選手の活躍を目にすると、そんなゴタゴタがあつたことも頭からすっかり抜け落ちて、オリンピックにどっぷりとはまってしまうみたいです。コロナがなかったらもっと世界中で盛り上がっていたでしょう。本当にコロナを恨めしく思います。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和三十九年一丁目十九番十五号

☎052-871-0547